

広報 おごおり

次号12月15日号
は休刊します。
1日1号は12月
22日発行です。

市民文化祭



11月11日・12日、文化会館で第28回小郡市民文化祭が開催されました。45団体がステージ発表や体験教室などを行いました。
(写真は文化協会茶道部(裏千家)のお茶席)

今号の主な目次

「障害者週間」記念特集 知ることから…2p
稲吉老松神社菅公縁起絵展を開催します…9p
市からのお知らせ…10p、子育て…18p
警察・119・消費生活・保健師…20p
くらしの情報…24p

「障害者週間」記念特集

知る ことから

平成28年4月、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」が施行されました。この法律は、障がいがある人もない人も、その人らしさを認め合いながら、共に生きる社会をつくることをめざしています。

そんな中、昨年7月、知的障がい者支援施設「津久井やまゆり園」で痛ましい事件が起こり、19人の尊い命が奪われました。社会に衝撃を与えたこの事件の背景を簡単に語ること

はできませんが、その一つに障がい者に対する偏見や差別が考えられるのではないのでしょうか。

今年9月に実施した「障がい者計画に係る市民アンケート調査」で、障がい者福祉への関心の有無をたずねたところ、身近に障がい者がいる場合は、72%の人が「関心がある」「まあまあ関心がある」と答えました。一方で、身近に障がい者がいない場合は、39%にとどまりました。また、関心はあるけどどのように接していいのかわからない」「どこまで手助けしていいのかわからない」などの声も多く聞かれます。

偏見や差別を無くすことや、関わりを持つことへの壁を取り払うためには、制度や実態の紹介だけでなく、「同じ地域で暮らす人として知る」とが第一歩だと考えます。

市内には障がいを抱えながらも、家族や地域に見守られ、元気に活躍している人がたくさんいます。今回の特集では、「障がい者への理解」「共生社会の実現」という趣旨に賛同いただいた3人に、ご協力いただきました。3人にはそれぞれ違う背景がありますが、自分の夢に向かって暮らしています。今回の記事が「知る」ことのひとつの機会になれば幸いです。



「小郡が大好き。小郡の役に立ちたい」とうれしそうに話す結さん。大学生のときに5か月間の海外留学をしました。その経験とともに、今の思いを伺いました。

結さんは、脳性まひにより、生まれつき歩くことができませんが、家族の支援を受け、幼少のころから、地域の祭りやボランティアなどに積極的に参加してきました。小学生のとき、父親の仕事の都合で、千葉県から小郡に移り住み、ここで大きなきっかけとなる、英語に出会います。中学・高校と、英語の成績が、特別良いわけではありませんでしたが、結さんの中で、英語は確実な強みとなっていき、いつか留学したいと考えるようになりました。また「海外のバリアフリーは進んでいる」という話を聞き、さらに海外への思いを高ぶらせました。

大学2年生のとき、語学研修でニュージーランドに2週間滞在しました。帰国後、㈱ダスキン「障害者リーダー育成海外研修派遣事業」を知りました。これは、海外へ研修派遣を行う事業で、地域貢献を願う障がいのある若者を対象に行われています。選考試験を2回目で突破し、アメリカ・ボストンでの5か月間の研修の機会を得ました。

ひとりの人間として

結さん自身、長い期間、親元を離れるのは初めての経験でした。研修では、自分と向き合う授業があり、自分をどう見てほしいのか、自分をかわいそうと思うかなどを話し合いました。その中で、今まで両親にしていたらいいことも、自分でできることがあると認識しました。

結さんは、現地での生活を次のように話します。「古い街並みを大事にするボストンは、レンガの歩道が多く、また、エレベーターが故障していたり、交通機関が遅れたりするのは当たり前でした。特に驚いたのはヘルパーです。仕事中に私用の長電話をしたり、家族の都合で仕事をすっぽかしたり、日本ならありえないと思うことが多々ありました。それでも居心地がよいと感じました。

なぜなら、道行く人が私のことを凝視することはなく、段差があれば『持ち上げれば楽勝だろ?』と手を貸してくれたからです。関わり方が、他人事ではなくフレンドリーでした。『かわいそう』ではなく、ひとりの人間としてみてくれたことで、社会に関わることができていると強く感じる瞬間が多々ありました。この経験が、私をたくましく、自立へと導いてくれました」

大好きな小郡に恩返し

帰国後、結さんは、買い物などへ一人で出かけることができるようになりました。以前は、周りが「できない」と言えばあきらめていたことが、ボストンでの経験が考えを大きく変えてくれたのです。障がいがあるからあきらめるのではなく、どうしたらできるか考えるようになりました。

結さんは、今年6月に就職。事務の仕事をする傍ら、小・中学生の放課後の学習ボランティアや、ボストンでの経験を、講演などをおして伝える活動に取り組んでいます。結さんは照れながら話します。「役に立っているかわからないけど、小郡に恩返しをしたい。ボストンもいいけど、やっぱり小郡が大好きです」



▲ホームステイ先の家族との一枚

小郡が好きだから

東川 結さん(23歳)



▲学校の授業の様子

保育所の友達と共に小学校へ

地域の中でさらに広がる世界

両親は、地域の小学校と特別支援学校を見学し、長所・短所をしっかりと整理した上で、地域の小学校への入学を決めました。その理由は、保育所の友達がしんのすけ君に対して「二人の仲間」として関わってくれていたことです。

小学校では、特別支援学級に在籍。両親は入学時、小学校の友達や、放課後に利用する学童保育所の友達に、しんのすけ君のことを理解してもらうため、しんのすけ君の性格や関わり方を紹介した紙芝居を作り、聞いてもらいました。

その後、しんのすけ君のことを知ってくれる友達は増え、交流学級の友達や、学年の違う友達とも楽しく過ごすことができました。中学生になった今でも、声をかけてくれる友達がたくさんいます。

◀両親が作った 紙芝居 ▶ライクポット小郡での スケジュール管理の様子



両親は、しんのすけ君が家庭以外で過ごせる場所を増やすことで、家族以外の人と関わることを目標に、放課後等デイサービスや、市のタイムケア事業などを利用しました。

ライクポット小郡（放課後等デイサービス事業所）では、「次の課題」をスケジュールで確認しながら過ごせるようになり、たくさんのお友達と関わる機会を積んでいます。スタッフの山下さんは「3年前の利用開始当初は、気持ちが悪く落ち着かないこともあったけど、今ではリーダーシップを発揮し、年下の友達のお世話をするなど、頼れるお兄さんです」と話します。

また、タイムケアでは、多くのボランティアから愛情をいっぱいにかけて過ごしています。しんのすけ君と出会って5年になる秋山さんは「最初は自己主張の強い子だと思っていたけど、あるがまま受け入れようという思いで接しました。すると、次第に落ち着き、心を開いてくれて、今ではたくさん遊んでくれます。しんのすけ君と関わるのが、いつしか私の心の安らぎになっていました」とうれしそうに話してくれました。

愛情をいっぱいを受けて

しんのすけ君(13歳)

将来の自立に向けて

しんのすけ君は友達と関わるのが大好きでしたが、小学校高学年になるにつれて会話が一方的だったり、相手の気持ちや状況をくみ取ることが難しかったりすることがありました。また、周りが気になって物事に集中できないことがあり、両親は、地域の中学校と特別支援学校のどちらに進むべきか、とても悩みました。十分に検討し、特別支援学校を選択しました。将来の「自立」に向けて必要な力を身に付けることや、人との関わり方について、ゆっくり時間をかけて学び、将来の仕事や人間関係が少しでもスムーズになることを願っての選択でした。

学校の担任の志岐先生は「入学当初は、環境の変化に戸惑っていました。が、徐々に慣れ、落ち着いてきました。今では、たくさんのお友達と楽しく過ごしています。作業学習などにも集中して取り組むことができるようになりました。将来の「自立」に向けて、今後もサポートしていきます」と話しています。

出会ったみんなが「応援団」

ウルトラマンをこよなく愛し、笑顔が素敵なしんのすけ君は、小郡特別支援学校中部に通っています。しんのすけ君には、両親をはじめ、多くの「応援団」がいます。そんな皆さんと、しんのすけ君との関わりをご紹介します。

地域へ初めての仲間入り

しんのすけ君は、生後まもなくダウン症候群の診断を受けました。1歳前から、運動発達を促すためのリハビリテーションと、遊びを通じた母子保育の中で療育をスタート。その後、母親の仕事復帰をきっかけに保育所に通うことになりました。

両親は、いくつかの保育所に相談し、将来の小学校生活も見据えて、自宅近くの保育所に通わせることを決めました。「在園中、先生にたくさん話を聞いていただいて、本当に心強かったです。しんのすけが初めて歩いたのは保育所でした。先生からその一步の写真が届いた時、本当にうれしかったです」と当時の思い出を話します。充実した保育所時代を経て、小学校への入学時期を迎えます。

両親の思い

「私たち両親は、しんのすけの『人生の道案内』をするのが役目だと思っています。どのような力を身に付けるかは本人次第ですが、できるだけ本人の「良さ」を伸ばしていきたいです。そして「将来の自立」に少しでも近づけるように、経験を積み重ねて、自分一人であることを増やしてあげたいと思います。」

現在利用している福祉サービスなどは、高校卒業とともに終了します。でも、これまで出会った人とのつながりは、途切れることなく、将来の生活の中に何らかの形で続いてほしいです。どんな形であれ、しんのすけの良さや、障がいの特性を生かした社会参加ができることを願います。また、仕事や余暇、趣味の場など、社会参加の選択肢が地域に多くあることを願っています。――

- ※1 交流学級…特別支援学級に在籍しながら、一部の教科やホームルームの時間を同級生と過ごす学級
- ※2 放課後等デイサービス事業…学齢児に対する放課後や長期休暇の療育の場であるとともに、放課後等の居場所づくり
- ※3 タイムケア事業…障がいを持つ児童の放課後の居場所づくり



※1 就労継続支援B型事業…障がいにより一般就労することが困難な人を対象に、雇用契約を結ばずに、障がいの状態や体調に合わせながら、一般就労に向けて、就労の提供や必要な技術・知識を提供する事業。生産から得た収入は、諸経費を差し引いた額を工賃として利用者に配分しています。

病院での出来事から1年、母親が他界しました。「自分が障がい者だなんて信じられない」と考えた時もあり、障害者基礎年金を受給しながら、市内の事業所を紹介してもらいましたが、なかなか気持ちに前に向きませんでした。

そんな中、唯一農業に取り組んでいた就労継続支援B型事業所「ろーど」に出会いました。腰痛持ちの自分ができることがあるか、仲間とうまくやっていけるかと不安はありましたが、スタッフから体験を勧められ「やってみようかな」と気持ちが動きました。

決め手は農業
過去の経験が生きた



働く喜びと生活の質
ゼロではない、プラスの力

いくつもの工程の中から、茂信さんができるものをスタッフと一緒に探しました。「これならできるごたあ」と最初に手がけたのは内職作業。野菜の種植えや除草作業などを行い、それが自信につながりました。もともと週3日の予定でしたが、「仕事もみんなといることも楽しかあ」とほとんど休まず毎日通い、周囲の会話が気になると「どーした？」と首を突っ込むほど、心配りするようになりました。地域の行事や同窓会にも積極的に参加するようになりました。

昨年、父親が他界しましたが、母親の時のように興奮状態になることはありませんでした。生活は厳しくなりましたが、お金の管理は、親戚などの協力を得ながら、自己管理を希望。うまくいかないこともありませんが、関係機関が集まり、方針を話し合っています。

厳しい家計のため、買い物などに利用していたタクシーを、サポネットおごりの移送サービス(障がい者に対して行う安価な福祉移送サービス)に変えました。毎日購入していた弁当も、週3日、小郡市社会福祉協議会の家事援助(掃除・調理)を

やっぱ小郡がよかあ

“一般就労”をめざして地域で暮らす

深山 茂信さん(55歳)

利用するようになりました。また、持病による通院結果の報告を受けながら、健康意識も徐々に高くなり、大好きな甘いお菓子の購入も減ってきているのでは、とスタッフは話します。

明日へ向かって

欲しいものを買いたい

今、茂信さんは「生産・製造の仕事がしたい」と一般就労を目標にしています。その理由は「給料」で好きなものを買いたいからです。緻密さが求められる作業は苦手ですが、慣れた作業であれば、長い時間継続して行うことができます。腰痛と付き合いながら、内職作業・野菜の袋詰めなどを中心に、作業技術を深め、一般就労に向けて取り組んでいます。

ろーどのスタッフは、次のように話します。「働く力を持つ障がいを抱えている人が、地域の中でどのような就労をめざしていけるのか、どのように力を伸ばすことができるのかと、実践の中で知っていくことが多いです。今後も、皆さんが活躍できるような場としてサポートしていきたいです」



結びに

茂信さんが、自身に知的障がいがあると知ったのは、今から5年前。両親が入院した時の出来事がきっかけでした。

茂信さんは高校卒業後、久留米の鉄工所に勤務しましたが、足に大けがを負い、約2年で退職しました。実家の農業を手伝いながら仕事を探しましたが、腰痛持ちということもあり、なかなか定着する仕事は見つかりませんでした。

両親が病気がちになり入院すると、一人で生活しながら毎日病院に通い続けました。しかし、一人の生活は安定したものではなく、もともと優しい性格の茂信さんでしたが、気性が急変し、粗ぼうな一面があらわになるようになりました。ある日、病院から、母の容体が思わしくないとこの連絡を受けると「連れて帰る」と怒鳴り散らしました。

相談を受けたサポネットおごり(小郡市障害者生活支援センター)が茂信さんに面会しました。支払いの滞りなど、生活の実態が分かった、金銭管理などの計算や、コミュニケーション力に困難さが認められ、医療機関で知的障がいがあると診断されました。茂信さんは、生活に必要な相談やサービスなど、サポネットおごりを利用することになりました。

市では、障がいがある人もない人も、住み慣れた地域で自立し、活動できる地域社会づくりに取り組んでいます。誰もが安心して暮らせる共生社会の実現には、市民一人ひとりが「ノーマライゼーション」の理念を理解することが不可欠です。

しかし、まだまだ健常者視点の一方的な考え方やルールなどが多く見られます。それらを解消するには、地道な啓発活動が続けることが大切です。その取組として、小郡市自立支援協議会が主催する講演会やイベントで、人材育成やノーマライゼーションへの理解促進を図っています。

小郡市には人や企業、自然環境など、すばらしい地域資源があります。これからも市民、行政機関、関係団体が顔の見える関係を築きながら、地域ぐるみで支えあう共生社会を目指していきます。

※2 ノーマライゼーション…障がい者が他の市民と同様の普通の生活・権利などが保障されるような環境整備を目指す理念

※3 小郡市自立支援協議会…関係機関や関係団体、障がい者などの福祉・医療・教育・雇用に関連する職務に従事する人が相互に緊密な連携を図ることにより、地域の実情に応じた障がい者への支援体制を整備することを目的として設置する機関

エコのすすめ（暖房編）

12月に入り寒さが厳しくなる中、すでに暖房を使い始めた人もいるのではないだろうか。今回は、暖房のちょっとした知識やエコロジーな使い方をご紹介します。



●問合せ先
生活環境課環境係
内線152



①暖房は冷房よりも電気代がかかる

暖房も冷房も同じエアコンを使っているのに、電気代も同じぐらいと思われがちですが、実際は暖房の方が電気代がかかります。



例えば、夏に室温32℃の部屋を25℃に冷やす場合は、-7℃分の電力を消費しますが、冬に室温8℃の部屋を22℃まで暖かくする場合は、+14℃分もの電力を消費します。

一般的に冬の方が変動させる温度が大きいので、暖房の方が多くの電力を消費し、それに応じて電気代も増えることになります。

②暖房の仕組み

暖房は、外の空気を利用して部屋の中の空気を暖めています。外の空気の方が冷たいのに、どうやって部屋の中の空気を暖めるのでしょうか？

実は、空気はどんなに冷たくても熱エネルギーを含んでいます。まずエアコンの室外機が外の空気を吸い込んで熱エネルギーを抜き取り、それを部屋の中のエアコン（室内機）に送り込みます。そして室内機は、送られてきた熱エネルギーを部屋の中の空気に与えて、暖かい空気を作り出しているのです。

るのです。

室内機も室外機も電力で空気を循環させているので、フィルターが汚れていたり、室外機の周りに物を置いて風通しが悪くなったりしていると、それだけ多くの電力を消費するので注意しましょう。



エアコン（室内機）



エアコン（室外機）

③エアコンの風向板は下を向ける

暖かい空気は上へ上へと向かいます。そのため風向板が上を向いたままだと、天井付近が暖まるばかりで、足元は寒いままになります。風向板を下に向けることで、足元から部屋全体が暖まるようになります。

④カーテンやレースカーテンを閉める

暖まった部屋にとって、最大の敵はガラスです。ガラスはその薄さもあって、暖かい部屋から外へ、急速に熱エネルギーを逃がしてしまします。

それを防ぐために、カーテンやレースカーテンを閉め、ガラスと部屋の間に空気の層を作りましょう。空気は、ガラスに比べると熱の伝わりやすさが40分の1以下しかありません。そのため、カーテンを閉めることで、部屋の中の熱エネルギーを外に逃がしにくくしてくれ、それだけ暖房の効率も良くなります。

特別公開

稲吉老松神社菅公縁起絵展



昨年4月、稲吉区長が代々受け継ぐたんすから掛け軸が発見されました。

調査をしたところ、この掛け軸は江戸時代後期のものと考えられ、菅原道真の生涯や死後の怨霊としての姿などを描いた縁起絵であることがわかりました。保存状態が非常に良く、掛け軸の形の天神縁起(縁起絵)は福岡県下で3件目であったという珍しさから、新聞でも大きくとりあげられました。

今回、市民の皆さんから「ぜひ本物を見たい」という声を多くいただきましたので、特別展示をします。

- 会期 **12月5日(火)～25日(月)**
※12月18日(月)は休館
- 時間 午前10時～午後6時
※金曜日は8時まで開館
- 会場 野田宇太郎文学資料館(市立図書館内)
- 入館料 無料
- 問合せ先 文化財課 ☎75-7555

担当職員が展示解説をします！

- ①12月5日(火)／午後2時～2時45分
- ②12月23日(土・祝)／午前11時～11時45分

解説者 稲村麻未(文化財課職員)

パネル展開催！

会期中は、稲吉老松神社(上岩田1374-1)でも、「掛け軸発見から展示まで」「縁起絵とは」「稲吉老松神社菅公縁起絵のこれから」などをまとめたパネルを展示しています。こちらもぜひご覧ください。

平成29年度 社会功労者を表彰しました

11月2日、平成29年度社会功労者表彰を行い、市政発展に貢献された方を表彰しました。



社会功労者(敬称略)

●保健衛生、地域医療の振興に
努めた者

浜崎恵

●地域の環境改善、美化に
努めた者

田竈由美子

●学術、芸術、体育その他教育、
文化の振興に努めた者

豊福剛

高場正美

川口セツ子

篠崎英夢

豊島我空

MIKUNI

●交通安全、災害の防止救助等に
努めた者

柳和宏

瀧誠一

中島智子

中村高則

問 人事秘書課 人事係
☎ 72-2111 内線212

「平田氏庭園」が国登録記念物 (名勝地関係)に登録されました

小郡市小郡(上町)にある市指定有形文化財「平田家住宅」内の「平田氏庭園」が国登録記念物(名勝地関係)に登録されました。県内では、2番目の国登録記念物です。

平田家は、江戸時代から小郡に住み、明治時代以降、小郡の中心産業であった木蠟業(もろうぎ)で財産の基礎をつくりました。その後、貯金組合を設立し、伍盟銀行として国に認可されるなど、木蠟業、金融業で財を成した豪商でした。



問 文化財課
☎ 75-7555

昭和3年(1928年)ごろに整備された庭園は、建物の間に池がある池泉観賞式と呼ばれる庭園です。南側には高さ4m、幅8mを超える巨岩から滝が流れる趣向が凝らされています。この滝石組は、九千部山の石を割り、牛車で運んできたそうです。建物や太鼓橋には、庭園を眺める視点場がつくれ、それぞれの場所から違った景観を楽しめるようになっています。庭を造ったのは、佐賀県鳥栖市の庭師松尾仙六です。彼は、大正末期から昭和初期にかけて、資産家の庭園造りを手がけました。小郡市内には、複数の庭園が残っています。

今後は、一般公開に向けて、準備を進めていきます。



産後のお母さんのところとからだをサポートします！ 「産後ケア事業」を平成30年1月4日から始めます

健康課健康推進係 ☎72-6666

産後、「家族などの手助けがない」「体調がすぐれない」などの心配はありませんか？

産後に安心して育児をしていただくため、生後4か月未満の赤ちゃんとお母さんを対象に、産婦人科や助産所でお母さんにゆっくりしてもらいながら、ケアや相談を受けられる「産後ケア事業」を始めます。

対象

小郡市に住所がある生後4か月未満の赤ちゃんとそのお母さんで、医療行為が必要ない人

※ショートステイとデイサービス利用者は、上記対象者で次のいずれかに該当する人

- ・家族などから育児の支援を受けられない
- ・産後の体調や育児に不安がある

内容

お母さんと赤ちゃんの体調に合わせてケアが受けられます。

- ①お母さんの休息、リフレッシュ
- ②母体ケア(乳房マッサージなど)
- ③授乳・沐浴の相談・指導
- ④赤ちゃんの発育確認や相談など

種類・利用料金など

種類	利用料金(1回につき)		利用回数
	市民税課税世帯	生活保護世帯 市民税非課税世帯	
ショートステイ(1泊2日/昼・夕・朝食付)	7,000円	1,500円	7回まで
多胎児加算(一人につき)	3,500円	750円	
デイサービス(日帰り/昼食付)	3,000円	500円	7回まで
多胎児加算(一人につき)	1,500円	250円	
母乳育児相談(1時間程度)	無料		1回

※多胎児加算：双子や三つ子などの多胎児の場合、第2子以降の赤ちゃん1人につき追加料金が必要です

利用方法

ショートステイ・デイサービス

申込みが必要です。利用を希望する人は健康課へお問い合わせください。

母乳育児相談

「母乳育児相談利用券」を妊娠後期に送付します。事前に下記施設へ予約し、ご利用ください。

利用できる施設・ケア内容

施設名	住所	電話番号	ケア内容		
			ショートステイ	デイサービス	母乳育児相談
牛嶋産婦人科クリニック	小坂井494-1	☎73-3955			○
さとう産婦人科	津古1210	☎75-5366			○
松隈産婦人科クリニック	小郡1504-8	☎73-3511			○
産前産後サポートセンター 心ゆるり	乙隈506-3	☎65-6510	○	○	○
助産院 マミーマンマ	三国が丘2-111	☎75-2401		○	○
おがた助産院	小坂井391-5	☎73-4776		○	○

電子証明書の有効期限を確認してください

問 市民課市民係 ☎72-2111 内線414

電子証明書を利用しe-Tax(国税電子申告・納税システム)などの電子申告を行っている人は、利用している電子証明書の有効期限を確認してください。

有効期限は、お渡ししている電子証明書の写しや、公的個人認証サービス利用者クライアントソフトの「証明書表示ツール」などで確認することができます。

※氏名、住所などに変更があった場合は、有効期限に関わらず、電子証明書は失効します

電子証明書を搭載しているカード

	有効期間	手数料
住民基本台帳カード	発行の日から 3 年間	手続終了
マイナンバーカード	発行の日から 5 回 の誕生日まで	初回無料 (再交付は200 円)

住民基本台帳カードへの新たな電子証明書の搭載は、平成27年12月22日をもって終了しています。電子証明書の有効期限が過ぎている場合は、電子証明書が搭載されたマイナンバーカードの申請をしてください。

マイナンバーカードは申請から交付まで約1か月を要します。申告の時期に応じて、早めに準備をお願いします！



マイナンバーカードの申請をお手伝いします

問 市民課市民係 ☎72-2111 内線414

マイナンバーカードの発行を希望する人を対象に、オンライン申請のお手伝いをします。市が準備したタブレット端末を利用して写真撮影し、職員が説明しながらお手伝いしますので、ぜひご利用ください。

※カード受取のため、後日で来庁いただく必要があります

日時 平日午前8時30分～午後5時

場所 市役所市民課窓口(本館1階)

■申請から受取までの流れ

①受付 必要書類を持参してください。

必要書類

- ・運転免許証、健康保険証などの本人確認書類
- ・右記の「通知カード」と一緒に届けられた「個人番号カード交付申請書」

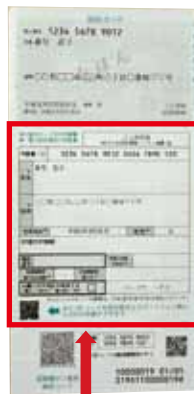
※通知カードの住所や氏名などに変更がある場合でもそのまま持参してください

②タブレット端末による顔写真の撮影



タブレット端末を使って顔写真を撮影するため、証明写真を準備する必要はありません。

※写真店などで撮影する写真よりも画質が劣ります



個人番号カード
交付申請書

③オンライン申請と今後の流れの説明



タブレット端末を使用して申請します。職員が説明しながら申請するので、難しい操作はありません。申請が終わると、その後のカードの受取に必要な本人確認書類などを説明します。カードの受取までは1か月程度かかります。

④マイナンバーカードの受取

カードが出来上がると、ご自宅にカード交付の案内はがきを郵送します。届いたはがき、通知カード、本人確認書類を市民課へ持参してください。

※交付案内はがきは、転送できませんのでご注意ください

【固定資産税】家屋の新増築・解体のご連絡、償却資産や認定長期優良住宅などの申告はお早めをお願いします！

申問 税務課資産税係(本館1階) ☎72-2111内線122・123

※各種申告書は、窓口、市ホームページ(ホーム▶申請書ダウンロード▶税金)で入手できます

新築・増築、解体の届け出

平成29年1月2日から平成30年1月1日までに建物(住宅・倉庫・車庫・店舗など)を**新築・増築、解体**した場合、平成30年度固定資産税に対する調査が必要です。まだ登記や調査がお済みでない場合はご連絡ください。

住宅用地継続申告について

既存の家屋(住宅)の所有者またはその家族が、平成30年1月1日現在で住宅を建替え中の場合、その土地は、1年度のみ継続して住宅用地の特例を受けることができます。申告が必要です。詳しくは、お問い合わせください。

住宅用地の申告

住宅の敷地として利用している土地(住宅用地)の固定資産税は、税負担が軽減されています。平成29年1月2日から平成30年1月1日までに、住宅用地の利用状況に変更がある人は、住宅用地特例の適用が変わりますので、申告が必要です。

対象となる場合

- 住宅を**新築・増築**した場合
- 住宅を**新たに取得**した場合
- 住宅を**解体**した場合
- 住宅を店舗・事務所などとして利用し始めた場合、または店舗・事務所などを住宅として利用し始めた場合
- 住居戸数の変更があった場合
- 土地の利用方法を変えた場合

※すでに家屋調査、滅失登記が済んでいる場合は、申告は不要です

申告方法

固定資産税の住宅用地等申告書に記入し、申告してください。別途関係書類を提出してもらう場合があります。

申告期限 1月31日(水)

新築された認定長期優良住宅に対する固定資産税の減額措置制度

平成29年1月2日から平成30年1月1日までに認定長期優良住宅を新築した人は、申告により、通常の新築軽減(3年間もしくは5年間)に代わり、次の減額期間が適用されます。

【減額される期間】

一般の住宅(平屋・2階建住宅等)	新築後5年間
3階以上の中高層耐火住宅等(マンション等)	新築後7年間

【減額内容】

住宅部分1戸当たりの床面積	税の減額率(該当家屋のみ)
50㎡～120㎡のもの	2分の1
120㎡～280㎡のもの	120㎡分に相当する税額の2分の1

対象家屋(住宅)

- ・長期優良住宅の普及の促進に関する法律に規定される認定長期優良住宅
- ・床面積が50㎡(一戸建て住宅以外の共同住宅の場合40㎡)以上280㎡以下のもの
- ・併用住宅の場合、居住部分割合が2分の1以上で、かつ居住部分床面積が50㎡以上のもの

申告方法

長期優良住宅に係る固定資産税の減額申告書に記入し、認定長期優良住宅の認定通知書の写しを添えて、申告してください。

申告期限 1月31日(水)

認定長期優良住宅とは

長期優良住宅の普及の促進に関する法律に規定する認定基準(耐久性・可変性・維持管理の容易性)に基づき、行政庁の認定を受けて新築された住宅のことです。

ひと
女

ひと
男



男女が共に生きるメッセージ



パートナークシップ

問合せ先 企画課男女共同参画推進係 ☎72-2111内線222

安心して働ける環境をつくりましょう

職場ではあらゆるハラスメントが起こる可能性があります。ハラスメントとは、相手を不快にさせたり、傷つけられたと感じさせたりする言動のことです。行為者の意図とは関係なく、相手がどのように感じたかによって、ハラスメントに該当することがあります。

今回は、妊娠・出産・育児休業・介護休業などに関するハラスメントについて紹介します。

職場でのハラスメント

- セクシュアルハラスメント
- パワーハラスメント
- 妊娠・出産・育児休業・介護休業などに関するハラスメント

など



◆こんなことで困っていませんか

事業主からの不利益な取り扱い

- ①妊娠や出産を理由に解雇する
- ②産前・産後休業や育児休業、介護休業を認めない
- ③出産した女性に対して、減給や降格など不利益な取り扱いをする など

上司・同僚からのハラスメント

- ①妊娠を報告したら「辞めてもらう」など解雇を示唆する
- ②男性が育児休業を申し出たところ「男が育休をとるなんてあり得ない」と言われた
- ③育児短時間勤務をしていたら同僚に「まわりは迷惑している」と言われた など



- 妊娠・出産をしながら働く女性のためのさまざまな制度があります
- パート、派遣、契約社員など雇用期間の定めがある場合も産休が取得でき、一定の範囲の人は、育児休業や介護休業も取得できます
- 育児や介護のためのさまざまな制度は、性別に関係なく利用できます



◆職場でハラスメントを受けたとき

ハラスメントは、受け流しているだけでは状況は改善されません。「やめてください」「私はイヤです」と、あなたの意思を伝えましょう。

また、ハラスメントは個人の問題ではなく会社の問題です。信頼できる上司や労働組合、社内が難しければ、都道府県労働局など外部の機関などに相談しましょう。

問題を解決していくことが、同じように悩んでいる他の人を救うことにもつながります。



おごおり女性ホットライン ☎092-513-7337

月～金曜日／午前10時～午後5時(祝日、12月29日～1月3日を除く)

配偶者や恋人からの暴力についての相談のほか、セクシュアル・ハラスメントや仕事、地域、家庭のことなどさまざまな悩みに、専門の相談員が対応します。



配偶者や恋人からの暴力に悩んでいませんか？
ひとりで悩まずに相談してください。



人権週間記念講演会

毎年、12月4日～10日は人権週間です。小郡市でもさまざまな人権問題に対する正しい知識と認識を深めるとともに、身近な人権について考えるきっかけとするため、記念講演会を開催します。

今年は、テレビや新聞などでもご活躍され、分かりやすい語りで好評の谷口真由美さんに講演いただきます。自分たちの生活をベースにした問題を例にあげ、人権問題から憲法、ジェンダー、平等など、さまざまな社会の問題を、まるで井戸端会議をしているかのように気楽で分かりやすく、楽しく話していただきます。

日時

12月10日

●開場 午後1時～

●開会 午後1時30分～

入場無料

講演会に先立ち、市内の小中学校の児童・生徒による人権作文の朗読を行います。小郡っ子の思いをぜひお聴きください。

会場

文化会館大ホール

講師

谷口真由美さん(大阪国際大学准教授)

テーマ

**みんなハッピーに暮らすには
～生活者目線でみる社会問題～**

※手話通訳・要約筆記・託児あり

※託児希望者は、12月4日(月)までに下記までお申し込みください

●申込・問合せ先 人権・同和対策課 ☎72-2111内線432



特設人権相談

「人権相談」をご存じですか？人権問題についての悩みや疑問に、人権擁護委員が応じています。相談は無料で秘密は堅く守られます。一人で悩まずにお気軽にご相談ください。

原則、毎月第3金曜日の午前10時から午後3時まで行っています。

●今後の相談日 12月4日(月)、1月19日(金)、2月16日(金)、3月16日(金)

●時間 午前10時～午後3時

●会場 人権教育啓発センター

※人権教育啓発センター職員による人権相談も随時行っています

●問合せ先 人権教育啓発センター ☎80-1080

12月10日～16日は 北朝鮮人権侵害問題啓発週間です

拉致問題をはじめとする北朝鮮当局による人権侵害問題について、私たち一人一人が関心を持ち認識を深めましょう。

●問合せ先 人権・同和対策課 ☎72-2111内線432

家庭教育学級《親子教室》 子どもに伝えたい生命のふしぎ

●申込・問合せ先 生涯学習課社会教育係 ☎72-2111内線523 ファクス73-5222
Eメール syogai-katei@san.bbq.jp 小郡市大板井1180-1

いま…新しい風

生きがい 楽習



命が宿り育つふしぎ。おなかの中の赤ちゃんの成長や食の大切さ、また、未来に続く命についてお話いただきます。

- 日時 1月30日(火)
午前10時～正午(受付9時40分～)
- 会場 生涯学習センターギャラリー
- 講師 食育劇団 和楽さん
- 受講料 無料

- 託児 無料、要申込
- 申込方法 窓口、ファクス、Eメールのいずれかで、氏名(ふりがな)、年齢、住所、電話番号、Eメールアドレス、託児希望の場合はお子さんの氏名・月齢を明記し、申込み

「第10回 LET'S GO! アンビフェスタ」を開催しました

●問合せ先 アンビネット小郡市地域連携協議会事務局 ☎72-2111内線522

10月22日(日)、生涯学習センターで、体験型フェスティバルを開催しました。

各アンビシャス運動参加団体による体験コーナーやステージコーナー、バザーなどは終日笑顔があふれていました。今年は「JAL空育」や「九州歴史資料館古代体験」などの新企画コーナーもあり、子どもから大人までみんなで楽しんだ一日となりました。



平成30年の成人式は1月7日(日)に開催します！

●申込・問合せ先 生涯学習課社会教育係 ☎72-2111内線523 ファクス73-5222
Eメール syogai@city.ogori.lg.jp 小郡市大板井1180-1

- 時間 受付 午前11時30分～
式典 午後0時30分～
写真撮影 午後1時～

※写真撮影後に、中学校区別の交流会あり

●会場 文化会館大ホール

●対象

平成9年(1997年)4月2日
～平成10年(1998年)4月1日生まれの人

※市外に住んでいる人で案内状を希望する場合は、お問い合わせください

※案内状がなくても成人式に参加できます

託児は事前申込が必要です

託児を希望する場合は、窓口・ファクス・Eメールのいずれかで申し込んでください。必要書類は、市ホームページでダウンロードできます。



文化協会 12月の会員作品常設展示はありません



洋舞部 くるみバレエスタジオ班

華やかなバレエの世界は基礎訓練の繰り返しです。音楽を心で聴き、身体で表現しながら集団の中での協調性、創造性、集中力を養っていきます。

幼少期は感性や音感を育む大切な時期です。おのの個性を大切に、身体能力を高め、芸術に触れ、バレエの楽しさや奥深さを伝えていきます。

大人を対象としたフリークラスやヨガ、ピラティスなどのクラスもあり、スタジオには、子どもから大人まで元気・活気・陽気…たくさんのエネルギーが溢れています。

体験は随時無料ですので、お気軽にお問い合わせください。

●問合せ先 くるみバレエスタジオ ☎ファクス75-6384、090-5085-8774(携帯) Eメール info@kurumi-bs.jp

おごおりっ子からのメッセージ・オアシス標語表彰式

●問合せ先 市青少年育成市民会議事務局 ☎72-2111内線522



10月28日(土)、文化会館で、市内小中高特別支援学校の児童生徒による主張大会を開催しました。18人の子どもたちが、大ホールのステージでそれぞれの思いを緊張しつつも堂々と発表することができました。

また、オアシス標語の授賞式も行われ、最優秀賞と優秀賞に以下の4人が選ばれました。学校をあげてオアシス運動に取り組んだ、のぞみが丘小学校、立石小学校、三国小学校の3校には学校賞が授与されました。

優秀賞
はすそうよ
心の口ツク
あいさつで
三国小6年
野田百葉

優秀賞
親切は
やさしい言葉と
思いやり
のぞみが丘小3年
内村瑠依

優秀賞
あいさつは
心つなげる
だいい歩
立石小3年
古賀大翔

最優秀賞
おはようで
元気な一日
はじまるよ
小郡小3年
澤田拓海

スポーツフェスタ・ふくおか

第60回福岡県民体育大会秋季大会 小郡市選手団結果

●問合せ先 スポーツ振興課事業係 ☎72-2111内線553



9月23日(土・祝)・24日(日)に北九州・京築地区で、「第60回記念福岡県民体育大会秋季大会」が開催されました。小郡市選手団からは、8競技、総勢126人が参加しました。結果は次のとおりです。

【小郡市総合成績 19位】

○バレーボール競技

一般女子C 第1位

○バドミントン競技

壮年男子A 第2位

壮年女子A 第3位

○剣道競技

一般男子 第3位

○陸上競技

青年女子 走幅跳

第3位 田村麻衣

壮年男子 砲丸投

70～79歳 第3位 桑形保雄

80歳以上 第1位 白石武

壮年男子 走幅跳

70～79歳 第3位 桑形保雄

80歳以上 第1位 白石武



小郡市体育協会 小郡市体育協会は平成30年に設立50周年！

●問合せ先 事務局(市野球場内) ☎75-2373 ☎http://ogori-taikyo.org

小郡市体育協会に加盟している18種目団体の紹介です。第9回は、バスケットボール協会です！

小郡市バスケットボール協会 ～好きで続けて、続けて好きになる バスケットボール！～

本会は、毎年4月のジュニアスポーツフェスティバル“ドリームボール”の審判に携わり、市内ジュニアスポーツの普及に努めています。また、今年8月、世代間交流を目的に小郡市総合交流戦を初開催！市内近隣で活動する小学生、中学部活、社会人の14チームが一堂に会し、交流戦を試みました。激しく躍動する社会人プレーに釘付けの子どもたち、また懸命な子どもたちに声援を送る社会人チームや応援席、会場は、お互いに通じ合うものを感じました。本会は、これからも世代交流を図りながらバスケットボールの普及と発展に努めていきます。加盟希望チームやコーチ・審判ライセンス取得についてはお尋ねください。

★問合せ先 ☎090-7294-9828(事務局：小野)



中学生 対 社会人の試合の様子

HAPPY BIRTHDAY

12月

わが家の人気者



今村 美都ちゃん
H25.12.29

みとちゃん 4歳おめでと
う☆愛らしい笑顔がステ
キなみとちゃん！優しく
て頑張り屋のみとちゃん
でいてね♪



木村 源くん
H27.12.30

2歳おめでと！源くん
もお兄ちゃんだね！みん
な源くんのことが大好き
だよ♡



木下 燈吾くん
H26.12.10

イヤイヤ期だし兄ちゃ
んと毎日けんかするけ
ど、妹を気づかたり
面倒みてくれてありが
と♪



中村 結絆ちゃん
H28.12.6

いつも元気いっぱい
で、ニコニコ笑顔がか
わいいゆずちゃん。明
るく元気に育っていこ
うね！



近見 颯くん
H25.12.25

末っ子やけんか何をし
てもただかわいい存在
の颯。ずっと赤ちゃん
な気がするけどもう
4歳。誕生日おめで
と★



中野 杏ちゃん
H28.12.21

1歳のお誕生日おめで
と。好奇心旺盛でこれ
からの成長が楽しみです
！いつも癒しをありが
と。大好き。



甲斐 梨愛ちゃん
H28.12.12

1歳のお誕生日おめで
と！これからもかわい
い笑顔で癒してね。り
あらちゃんだいすき♡



中村 蒼介くん
H26.12.10

祝3歳♡蒼ちゃん。得意
の歌やダンス、変顔で、
いつも家族みんなを笑
顔にしてくれてありが
と！大好きよ♪



橋本 旺星くん
H26.12.27

おーちゃん3歳の誕生
日おめでと☆ウルトラ
マンのように強いお兄
ちゃんになってね！



菊池 そよちゃん
H26.12.16

そよちゃん3歳の誕生
日おめでと！笑顔溢れ
るステキな1年になり
ますように。



甲斐田彩佳ちゃん
H28.12.12

1歳のお誕生日おめで
と☆元気いっぱいす
くすく育ってくれて
ありがと。彩佳の笑顔
が大好きだよ。



貢 爽士くん
H25.12.11

兄弟思いに成長しまし
た(いたずらも成長)。4
歳おめでと！



成合 遥香ちゃん
H28.12.15

1歳のお誕生日おめで
と！笑顔がかわい
いはるかちゃん♪これ
からもわが家のアイ
ドルでいてね☆

2月生まれのお子さんの写真を募集しています！
写真にお子さんの名前(ふりがな)・性
別・生年月日、住所、電話番号、30字程
度のメッセージを添え、窓口、郵送、ホーム
ページのいずれかで申し込みください。
※5歳まで、応募多数の場合は先着順
●締切 1月10日(水)
●申込・問合せ先
総務課広報統計係 ☎72-2111内線243



図書館司書が選ぶ読み聞かせ絵本



市立図書館
で貸し出し
ています



『にゃんきっちゃん』

岩合日出子／ぶん 岩合光昭／しゃしん 福音館書店

寒い寒い季節がやってきましたね。皆さん、いかがお過ごしでしょうか。
今月は、ネコの絵本をご紹介します。動物写真家の岩合光昭さんが、ご自身のネコ
(にゃんきっちゃん)を何年にもわたって撮影した写真絵本です。

にゃんきっちゃんは白いネコ。居眠りをしたり、ひなたぼっこをしたり、カ
エルやトンボと戯れたり、さまざまな表情を見せてくれます。表紙のインパ
クトから思わず手に取り、読むと思わず声をかけたくなる、そんな不思議な絵
本です。

岩合さんは、にゃんきっちゃんを家族の一人だと話しています。岩合さんのにゃんきっちゃんへの愛情を
感じながら、お子さんと一緒に温かな時間をお過ごしください。



〒 小郡市子育て支援センター
☎ 73-5041

✉ kosodateshien5041@suo.bbiq.jp
市ホームページ(ホーム▶子育て教育▶遊ぶ▶小郡市子育て支援センター)

小郡市子育て支援センターは、未就園のお子さんとその家族のために、さまざまな事業を行っています。



のびのび講演会

『かしこく強く、
子どもの心と身体を作る食！
～おいしい食事を見直そう～
子どもが喜ぶ時短お弁当作り』

10月5日(木)
あすてらす調理室
講師 笠真紀子さん

参加者の声

- いろいろ豊かなお弁当が短時間でできてとても勉強になりました
- いい話、食育についてのお話がたくさん聞けて、他のママたちと楽しく料理ができて良かったです。これからのお弁当作りに役立てたいです

のびのびキッズルーム

『散歩』

10月13日(金)
人権教育啓発センター

参加者の声

- 歌もパネルシアターも製作も、普段家ではできないことをさせてもらって、とても良かったです
- 子どもがいつも楽しそうに帰るのを嫌がります。こんな風に遊んであげるといいんだと勉強になります

のびのび広場

『親子で音楽に合わせてあそぼう』

10月19日(木)
あすてらす多目的ホール
講師 岸川良子さん

参加者の声

- 体を動かして楽しかったです。楽器も短時間で素敵なものができたので、子どももうれしそうです
- ふれあい遊びで膝にのせて遊べて良かったです。紙皿でタンバリンができてアイデアがすごいと思いました

のびのび教室

第5回
『秋探しの散歩』

10月25日(水)
ひまわり館東野

参加者の声

- 普段なかなか外へ出ることがないので、親子で楽しく散歩できました。どんぐりなどの実に興味を示してくれたので良かったです
- 親子でまっぼっくりやどんぐり拾い、落ち葉をパリパリッと足で踏んで秋を感じることができました

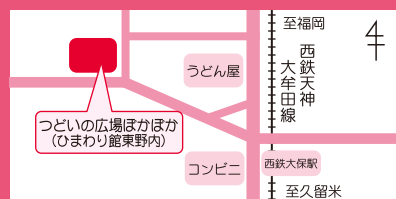
地域子育て支援拠点事業(小郡市)



☎ つどいの広場 ぽかぽか
☎ 75-7077
✉ tsudoi@san.bbiq.jp
〒 838-0106 小郡市三沢83-1
(ひまわり館東野内)

開室時間

月～土曜日／午前9時～午後4時
日、祝日、ひまわり館の休館日および年末年始はお休みです。利用は無料で、予約不要です。



つどいの広場 ぽかぽかは、就学前の乳幼児とその家族がゆっくりと過ごすことができる場所です。お子さんとおもちゃで遊んだり、絵本を読んだりして楽しくふれ合ってくださいね。

親子リトミック

音楽に合わせて、のびのびと体を動かします。親子で楽しめる人気の講演会ですよ。みんなで楽しい時間をすごしましょう！

★日時 12月18日(月)
1回目…午前10時～10時45分(9時45分から受付)
2回目…午前11時～11時45分(10時45分から受付)

★会場 ひまわり館東野大ホール

★講師 阿部由美さん、桜島里子さん

★対象 就学前のお子さんと保護者

★持参物 お茶

※参加費無料、予約不要

※託児はありませんので、きょうだい

で赤ちゃんがいる場合はおんぶひもなどをお持ちください

※親子で体を動かしますので、動きやすい服装でお越しください

※通常行っている絵本の読み聞かせはお休みします

どちらか1回の参加でお願いします。また、時間に余裕を持ってお越しください。

★お知らせ★

◎12月のベビーマッサージは、12月21日(木)に行います

◎12月28日(木)～1月4日(木)は、ひまわり館東野が休館のため、つどいの広場もお休みです



年末年始の特別警戒！侵入窃盗に注意しましょう

外出の機会が増える年末年始は、空き巣などの被害が増加するおそれがあります。防犯ポイントを知り、このような被害を1件でも少なくしていきましょう。

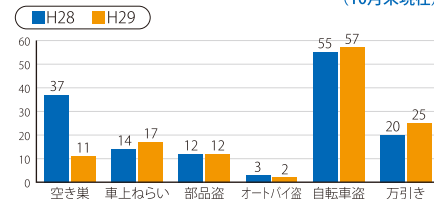
防犯ポイント

- ごみ捨てなど短時間の外出でも鍵をかける
- 2階は大丈夫と安心せず、ベランダの鍵も確実にかける
- 足場になる物を家のまわりに置かない
- 窓ガラスには補助錠を取り付ける
- 防犯ガラス、防犯フィルムを活用する
- 合鍵を郵便受けなどに隠さず、しっかりと保管する
- 長期間外出するときは、留守を悟られないよう新聞などは止める

平成30年福岡県警察年頭視閲

- 日時 1月10日(水)／午前10時～正午
- 会場 福岡ヤフオク！ドーム
- 内容 ○年頭視閲 警察部隊分裂行進・車両行進など ○ふれあい広場 白バイ・パトカーの体験乗車など

小郡警察署管内の犯罪および交通事故の発生状況 (10月末現在)



○刑法犯発生件数	290件(－16件)
○交通事故発生状況	
発生件数	254件(－15件)
死者数	3人(+3人)
傷者数	316人(－45人)

※()は、昨年同月比を示す

毎月9日は
防火の日

こちら119

久留米広域消防本部
三井消防署 ☎72-5101



第5回、第6回一般公募普通救命講習会

突然、目の前であなたの大切な人が倒れてしまったら、あなたは何ができますか？救急車が到着するまでの間、救命処置をすることによってその人の命を救える可能性が高くなります。いざという時のために、救命講習を受講し知識と技術を学びましょう。



- 日時 【第5回】1月13日(土)／午前9時～正午(受付8時30分～)
【第6回】3月10日(土)／午後1時～4時(受付0時30分～)
- 会場 【第5回】三井消防署三井出張所 【第6回】三井消防署本署
- 対象 小郡市、大刀洗町、久留米市北野町の居住者(中学生以上)または勤務者
- 内容 AED(自動体外式除細動器)を使用した心肺蘇生法、その他の応急処置
- 定員 30人程度(先着順)
- 申込方法 三井消防署本署(☎72-5101)、三井出張所(☎77-1000)、三国出張所(☎75-3335)へ直接または電話で申込み
- 申込締切 【第5回】1月12日(金)
【第6回】3月9日(金)
- ※実技を行うため、動きやすい服装(スカート不可)でお越しください
- ※受講料無料

消費生活相談室

小郡市消費生活相談室
☎27-5188

窓口開設日
毎週月～金曜日
午前9時～正午、午後1時～4時

気づきと見守りで高齢者の消費者トラブルを防ごう

高齢者の消費者トラブルが年々増加しています。家族や周囲の人が気づかいうちに、健康食品などを次々と購入させられ、被害が拡大するケースが目立ちます。年末、実家に帰省したとき、居室・居宅に変わったことがないか注意してみましょう。

＜相談事例1＞ 年末実家に帰省したら、一人暮らしの高齢の母親宛にたくさんの健康食品が届いていることが分かった。見本を送ってもらったことがきっかけとなり、電話勧誘を受け、代引きでお金を支払ったようだ。

＜相談事例2＞ 介護担当者からの連絡で、認知症の父が海外投資の契約をしていたことが分かった。自宅を訪れた事業者にしつこく勧誘されてその場で契約し、約30万円の現金を支払ったようだ。

＜気づきと見守りのポイント＞

- トラブルや被害を防ぐためには、家族や周囲の人の協力が不可欠！

日頃から家族や周囲の人が高齢者本人の居室・居宅の様子、言動や態度に変化や不審な点がないか気をつけましょう。

- 家族と同居していても、日中一人で留守番をしている高齢者がトラブルや被害にあうことがあり、注意が必要です

身近な高齢者の様子で、少しでも変化に気づいたら「何か困っていませんか？」「事業者から勧誘されていませんか？」「本当に必要な契約ですか？」などと高齢者本人に声をかけましょう。

消費者被害が疑われる場合は、まず小郡市消費生活相談室にご相談ください！
高齢者本人からだけでなく、ご家族からの相談も受け付けています。

保健師だより

インフルエンザを予防しましょう

今年もインフルエンザの流行の季節がやってきます。インフルエンザは「インフルエンザウイルス」に感染して発症します。38℃以上の発熱、頭痛や関節・筋肉痛などの症状が急に現れ、高齢者や慢性疾患を持つ人は肺炎を伴うなど重症化することがあります。



実践！インフルエンザ予防

●流行前にワクチンを接種する

予防接種をするとインフルエンザによる重篤な合併症を予防することができます。流行前の12月中旬ごろまでに予防接種を受けましょう。



●流行期は人ごみを避ける

人ごみにはできるだけ近づかない、混雑時に乗り物に乗らないなど、できるだけウイルスに接触する機会を避けましょう。



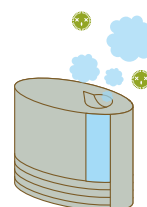
●手洗いをする

外から帰ったら、必ず手を洗いましょう。また、多くの人が触れるドアノブや電車のつり革、お金など、汚れやウイルスを含む飛沫はさまざまなものに付着しています。それらの物に触れたあとは手洗いをしましょう。アルコール製剤による手指の消毒もインフルエンザウイルスに対して有効です。



●加湿する

空気が乾燥するとのどの粘膜の防御機能が低下し、インフルエンザにかかりやすくなります。室内は加湿器を使って適切な湿度(50～60%)を保ちましょう。



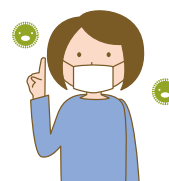
●生活習慣を整える

十分な休養とバランスのとれた食事で、抵抗力をつけましょう。

●咳エチケット

咳などの症状がある人は、周りの人へうつさないように咳エチケットを実践しましょう。

- ①咳・くしゃみの際は、ティッシュなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけ1m以上離れる
- ②鼻汁・痰などを含んだティッシュは、すぐにふた付きのごみ箱に捨てる
- ③咳やくしゃみを手で防いだ場合はすぐに手をよく洗う
- ④咳やくしゃみがあるときはマスクをする
(マスクは不織布の使い捨てのものがよい)
- ⑤マスクは説明書をよく読んで正しく着用する
- ⑥咳やくしゃみがある人にはマスクをつけてもらう



インフルエンザにかかってしまったら

具合が悪ければ早めに医療機関を受診しましょう。水分を十分に補給し(お茶でもスープでも飲みたいものでOK)、安静にして休養をとりましょう。インフルエンザの感染力はとても強く、周りの人に高い確率でうつってしまうので、しっかりと自宅療養しましょう。

また、小さなお子さんや未成年者は、インフルエンザにかかると、急に走り出す、部屋から飛び出そうとする、ウロウロと歩き回るなどの異常行動を起こす恐れがあるので、少なくとも発症から2日間は一人数にしないよう配慮しましょう。



あすてらす健康相談室の案内

健康相談(予約制)、血圧測定、検尿などを行っています。お気軽にお越しください。☎72-6467
毎週月～金曜日 午前9時～11時/午後1時～4時(あすてらす休館日を除きます)

●問合せ先 健康課健康推進係 ☎72-6666

小学生が稲刈りに挑戦！

10.5
thu



大原小学校5年生58人が、地元の人の協力のもと、稲刈りに挑戦しました。

「ケガをせんようにね」と、慣れないカマを使つての稲刈り。刈った稲を、その場で脱穀すると、お米は13俵にも及び、昨年を越える豊作となりました。

児童らは「難しかったけど、楽しかった」と話し、自分たちで植えた苗の稲刈りに大満足の様子でした。

収穫したお米は、来年2月に食べるということで、「待ち遠しい」と笑顔を見せていました。

侍ジャパンU-15選出&サッカー全国大会優勝

10.16
mon



大原中学校3年生の2人が、全国を舞台に活躍しています。深浦幹也さん(右)が野球の侍ジャパンU-15代表選手に選出、千代島瞬さん(左)が日本クラブユースサッカー選手権で優勝を果たし、市長に報告しました。

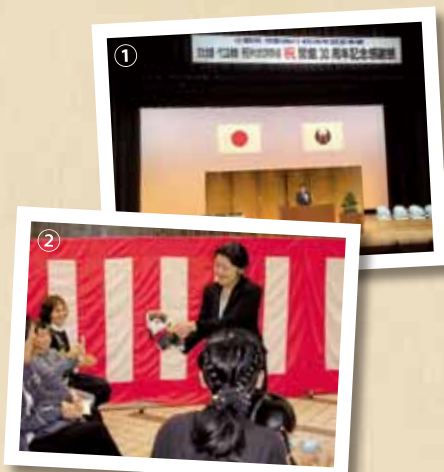
深浦さんは、小学1年生のときに「東野少年野球」で野球をはじめ、現在はポニーリーグの「福岡フェニックス」に所属しています。左投げの投手で、130キロを超えるストレートを武器に活躍しています。今回、その活躍が認められ、侍ジャパンU-15に選出されました。「努力が認められてうれしい。選ばれたからには実力を出せるように頑張りたい」と力強く話してくれました。

千代島さんは、3歳から父親の影響でサッカーをはじめ、小学生のころから全国大会で活躍してきました。現在は、サガン鳥栖のユースチームに所属し、180センチという体格を生かし、守備の要として、ヘディングやロングキックでチームを牽引しています。今大会では強豪を退け、栄えある優勝を勝ち取りました。将来について「プロになって、海外に挑戦したい」と話してくれました。

2人からのうれしい報告に市長は「これからも2人で負けなように刺激し合って、将来世界で活躍するのを楽しみにしています」とエールを送りました。

文化会館・図書館・野田宇太郎文学資料館 開館30周年感謝祭

11.3
fri



①記念式典
②ラックンファッションショー
③安武玄晃さん(左)と
ほいけんたさん(右)

文化会館、図書館、野田宇太郎文学資料館の開館30周年を記念して「感謝祭」が開催されました。

当日は記念式典のほかに、図書館キャラクター「ラックン」のファッションショーや、安武玄晃さん、ほいけんたさんの記念公演、オリジナルバックをつくるシルクスクリーンの体験イベント、おはなし会「おはなしどんどん」、本の書評合戦「ビブリオバトル」などが行われました。

また、布の絵本の展示、懐かしい公演のポスターや出演者の色紙の展示など見どころも満載。子どもから大人まで参加できるたくさんの催しに、笑顔でいっぱいの日でした。

開館30周年記念利用券ができました

市立図書館では、利用者の住所確認と、バーコードの劣化による誤作動防止のため、おおよそ6年ごとに、図書利用券の更新手続きをお願いしています。

このたび開館30周年を記念して、3種類から選ぶことができる新デザインの利用券ができました。

更新期日を迎えた人から順に、新しい利用券に作り替えます。また、希望する人は更新期日前でも作り替えることができます。図書館カウンターで利用申込書をご記入ください。



「絵手紙で年賀状」教室

年始のごあいさつに手書きの年賀状を送りませんか。筆や割りばしで来年の干支である「いぬ」を描きます。お友達同士や親子での参加もお待ちしております！

- 日時 12月9日(土)／午前10時～正午
- 会場 生涯学習センター研修室
- 対象 一般の方、親子(託児はありません)
- 定員 20人(要申込、先着順)
- 持参品 あれば犬の写真や絵、割りばし2・3本、絵の具セット(小学生の参加者で持っている人)
- 材料費 大人100円、子ども50円

紙バンドで作る コースター5枚セット

紙バンドですてきなコースターを作って、食卓を彩りませんか。

- 日時 12月17日(日)
午前9時30分～11時30分
- 会場 図書館2階研修室
- 講師 手島栄子さん
- 定員 10人(要申込、先着順)
- 持参物 はさみ、目打ち(持っている人)
- 材料費 300円

クリスマスおはなし会

クリスマスの絵本や、パネルシアターなど、3歳から楽しめるおはなし会です。歌や手遊びなど盛りだくさん！

みんなでいっしょに楽しい時間を過ごしましょう。

- 日時 12月25日(月)／午後2時～3時
- 会場 文化会館小ホール
- 対象 3歳～小学3年生
- 定員 50人(要申込、先着順)

本のPOPコンクール表彰式記念講演会

おたけひでひろ

写真家・大竹英洋さん「ノースウッズの森で(仮)」

北アメリカ大陸北部に広がる湖水地方「ノースウッズ」に15年以上通い続けて野生動物の写真を撮っている、写真家・大竹英洋さんをお招きして、講演会を開催します。

ノースウッズの森で大竹さんが出会った、クマ、ヘラジカ、オオカミなどたくさんの動物たちの写真をスライドで見せながら、北米の大自然についてお話しいたします。

- 日時 1月20日(土)／午後2時～
- 会場 生涯学習センター七タホール
- 定員 100人(要申込、先着順)
- 参加費 無料

大竹英洋さんプロフィール

1975年生まれ。写真家。一橋大学社会学部卒業。

北アメリカ大陸北部に広がる湖水地方「ノースウッズ」をフィールドに、野生動物や人々の暮らしを撮影。

人間と自然とのつながりを問う作品を制作し、雑誌、絵本、写真展などで発表している。

おもな写真絵本に、福音館書店刊『ノースウッズの森で』『春をさがして カヌーの旅』『カリブーの足音』(たくさんのふしぎ)『もりのどうぶつ』(こどものとも0.1.2.)『もりはみている』(こどものとも年少版)、エッセイに、あすなろ書房刊『そして、ぼくは旅に出た。はじまりの森ノースウッズ』がある。

申 申込み先 問 問合せ先 F ファクス E メール

募集

03 障がい児のウィンター
スクール参加者・ボラ
ンティア募集申 問 サポネットおごおり(あすてらす内)
☎72-3175 F80-5506
☎838-0126 小郡市二森1167-1

40期目となる“ウィンタースクール”を開催します。障がいのある小・中学生と高校生を対象に、レクリエーション活動を通して障がい児同士やボランティアとの交流、また、保護者の交流も深めていきます。

★日時 12月25日(月)・26日(火)、
1月5日(金)
午前9時～午後3時

★会場 あすてらす多目的ホールほか

参加者

★対象 市内在住の障がいのある小・中学生、
高校生(就学児)

★参加費 1日500円

★持参物 昼食、水筒、着替え、タオル

★定員 各日20人(申込多数の場合は、調整
後、締切日以降に連絡します)

ボランティアスタッフ

★対象 障がい児(者)福祉に関心のある高校
生以上の人

★定員 各日40人

※昼食は準備します。1日のみの参加も可

共通事項

★申込方法 来所、電話またはファクス

★申込締切 12月15日(金)

★主催 グローカルネットワークおごおり

※サポネットおごおり、こぐま福祉会、市社会福祉協議会、市福祉課の4者によるネットワークです

事前説明会

参加者とボランティアスタッフの顔合わせになりますので、参加をお願いします。

○ボランティアスタッフ

★日時 12月23日(土・祝)／午前9時～

★会場 あすてらす2階視聴覚室

○参加者(保護者)

★日時 12月23日(土・祝)／午前10時～

★会場 あすてらす2階会議室3

特別展記念講演会

01 ハニワこうていが
やってきた!

申 問 文化財課 ☎75-7555

大阪府八尾市しおんじやま古墳学習館キャラクター「ハニワこうてい」を使った史跡活用について講演いただきます。

★日時 12月16日(土)

午後1時30分～3時

★会場 埋蔵文化財調査センター研修室

★内容 『ハニワこうていがやってきた!』
～八尾市心合寺山古墳での史跡の活用と実践～

★講師 福田和浩さん
(しおんじやま古墳学習館館長)

※申込不要

つこっコと
ハニワこうてい



お知らせ

02 最低賃金が
改正されます申 問 福岡労働局労働基準部監督課賃金室
☎092-411-4578

12月10日から、福岡県の特定最低賃金が次のとおり改正されます。

働く人、雇う人、どちらもご確認ください。

業 種	1 時間
製鉄業、製鋼・製鋼圧延業、鋼材製造業	927円
電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業	881円
輸送用機械器具製造業	902円
百貨店、総合スーパー	846円
自動車(新車)小売業	892円

※上記の業種に当てはまらない人は、福岡県最低賃金1時間789円(10月1日改正)です

お知らせ

三国幼稚園の

今後について

広報10月15日号5ページの市立幼稚園の記事について、小郡・三国幼稚園の2園を平成31年度から小郡幼稚園1園に統合するとの内容で掲載しましたが、三国幼稚園の今後のあり方については、市民の皆さまとの意見交換や地域の子育て環境などを考慮しながら、検討することとしていますのでお知らせします。

なお、小郡幼稚園については、平成31年度より、2年保育から3年保育へ拡充し、預かり保育を実施する予定です。
 園教務課教務係(内線512)

リサイクル品 展示・即売会

クリーンヒル宝満に持ち込まれた家具類で再利用できるように修理したものを展示、販売します。

日時 12月13日(水)
午前9時～午後4時

※正午～午後1時は昼休み
 対象 小郡市、筑紫野市、基山町在住者

展示品目 家具類約100点

※販売品の一部を12月1日にホームページへ掲載予定
 ※下見はご遠慮ください

販売価格

1点2,000円以下
 ※購入は1人2点まで

注意 購入品の配達はありません。当日持ち帰りができない場合は、12月22日(金)までに引き取ってください。
 (土日休業)

会場 園クリーンヒル宝満
 ☎092・926・5300

ふれあいコンサート

日程 12月23日(土・祝)
 午後3時～5時
 (開場2時)

会場 文化会館大ホール
 テーマ 「絆」

内容 自衛隊と大原中学校吹奏楽部(ゲスト出演)による音楽演奏

入場料 無料
 園 小郡駐屯地広報班
 ☎72・3161

保育士さんの

就職を応援します

県では、保育現場を離れている保育士の皆さんの就職を支援する「保育士就職支援センター」を開設しています。

センターでは、コーディネーターが働き方の相談や就職先を見つけるお手伝いをしています。その他にも、就職不安解消のため、保育所での一日体験実習を開催しています(参加無料・要申込)。詳しくは、センターにお問い合わせください。

※小郡市内認可保育所の求人票も登録しています。また、小郡市内認可保育所で新たに勤務する常勤保育士を対象に、10万円を給付しています。詳しくは、市子育て支援課(☎72・2111 内線472)まで

園 保育士就職支援センター
 ☎092・582・7955

HP <https://www.fpk.jp/work.html>

しめ縄づくり講習会

しめ縄づくりをしている会

員が講師となり指導します。

日時 12月19日(火)

午後1時30分～4時

会場 シルバー人材センター

小郡本所

定員 15人(先着順)

※新規受講者優先

材料代 200円

持参物 ペンチ、はさみ

申込方法

電話(12月11日(月)/午前

9時～受付開始)

○しめ縄を販売します

地元産のわらを使って会員が制作したしめ縄(約70×30cm、750円)を販売します。

引渡期間

12月22日(金)～27日(水)

※電話・窓口で事前に申込み

園 シルバー人材センター

☎73・1881

ナイトミュージアムinき ゆうれき2017～冬～

暗く静まりかえった夜の博物館の探検、天体観察など、普段はできない楽しい体験をしませんか。

日時 1月5日(金)
 午後4時～8時40分

(受付3時30分)

対象 小学3年生

～中学3年生

定員 30人(先着順)

参加費 無料

持参物 軽食(夕食用)

申込締切 12月25日(月)

※帰宅時は、必ず保護者による送迎をお願いします

会場 園九州歴史資料館

☎75・9575

文化財の中で日本文化に触れる講座

今回は、お正月行事や着物についての講座です。

日時 12月9日(土)

午後1時～3時

会場 『平田家住宅』内

※駐車場はありません

内容 お正月行事について

ハレとケの世界・着物の常識

講師 佐藤信良子さん

(装道礼法学院・院長)

定員 20人

参加費 無料

園 文化財課

☎75・7555

介護家族の「笑顔のつづき」

日時 12月15日(金)

午後1時30分～3時

会場 人権教育啓発センター

2階談話室

内容 フリートーク

岡地域包括支援センター

(内線455)

試験

第3回危険物取扱者試験

期日 2月25日(日)

会場 久留米大学御井学舎

種類・受験料 甲種5,000円、乙種3,400円、丙種2,700円

受付期間 12月18日(月)～1月10日(水)

※電子申請は、12月15日(金)～1月7日(日)

※願書は久留米広域消防本部各消防署と各出張所に準備

【申請】消防試験研究センター

【電話】092・282・2421

【F】092・282・2422

同試験準備講習会

日時 2月3日(土)

午前9時～午後5時

会場 三井消防署

受講料 2,000円

教科書 2,680円

※要申込

【申請】三井消防署警防課

【電話】72・5101

【F】72・5948

募集

冬の自然体験活動「はぜロウでキャンドルを作ろう」

日時 12月17日(日)

午後1時～4時

会場 九州歴史資料館

対象 小学生～大人

定員 60人(先着順)

参加費 無料

申込方法 はがきまたはEメールで①参加者と同伴者の氏名(ふりがな)②年齢③学校名④学年⑤住所・郵便番号⑥電話番号を明記し、申込み

申込締切 12月12日(火)

【申請】NPO法人三沢遺跡の森を育む会(T83810103小郡市三国が丘一丁目177)

【電話】090・7165・3615

(宮川)

【E】misusawaiseki@gmail.com

県農業大学校研修生募集

対象 ①福岡県内の農業者②福岡県内での就農(農業生産法人への就職を含む)を志す人③心身ともに健康で講義の受講や実習に支障がない人

※②は、認定新規就農者と一緒に相当する人

定員 野菜(施設野菜)、花き(施設花き)合わせて20人程度

申込期間 1月4日(木)～2月5日(月)

【申請】福岡県農業大学校

【電話】092・925・9129

【F】092・925・9129

【お】お

【礼】礼

【小郡市社会福祉協議会】

【香典返し寄附者(敬称略)】

三沢 鐘ヶ江俊作(亡父輝久)

新町 上羅和子(亡夫裕)

●一般寄附(敬称略)

個人ボランティア 手芸部

学校支援地域本部活動 『お願いします、学校支援。できることを できる時に!!』

○問合せ先 教務課教務係 ☎72-2111内線512

小郡市学校支援地域本部では、小郡小・大原小・東野小・小郡中・大原中を対象にボランティア支援を行う活動に取り組んでいます。学校支援コーディネーターが、学校と地域の皆さんのパイプ役となって学校支援ボランティア活動を円滑に行うことで、学校教育の充実を図っています。

これまで、校外活動の引率や低学年での算数学習支援、また、ミシン操作や器械運動、昔遊びの支援など、地域の皆さんの経験・特技が学校教育のさまざまな教育の場面で生かされてきました。

学校支援ボランティア活動は、教育活動の支援だけでなく、子どもたちにとっても、地域の大人とふれ合い、地域の一員としての自覚が深まる機会となっています。また、ボランティアの方からも「子どもたちからエネルギーをもらいながら、楽しんでいます」などの声をいただいています。



【種取り】
東野小



【計算学習】
東野小



【マット運動】
大原小



【花壇整備】
小郡中

小郡市学校支援地域本部では『できることを、できる時に』を合言葉に活動しています。学校のお手伝いに興味がある方の学校支援ボランティアへの登録を、心よりお待ちしております。

●登録先 小郡市学校支援地域本部(大原小学校内) ☎080-9063-9675 ☎42-6711

活動日 毎週 月・火・木・金(祝日を除く) / 午前8時30分～午後0時30分

ちょっと足をのばして

久留米広域圏・筑後川流域クロスロード広域イベント情報



ハートライトフェスタ2017 ～冬の小粋な散歩道～

<鳥栖市>

今年のテーマは「冬の小粋な散歩道」。毎年好評の市民オブジェなど、より多くの人がイルミネーションを創り上げる楽しさを感じて笑顔あふれるイベントとなるよう取り組んでいます。

家族、友達、大切な人と、鳥栖の素晴らしい冬のひとときをお楽しみください。

期間 開催中～12月28日(木)まで

時間 午後5時30分～10時

会場 中央公園一帯(鳥栖市大正町)

問鳥栖商工会議所 ☎83-3121 ☎83-8888

2017ふ・れ・あ・いフェスタ

<基山町>

ふれあいフェスタは、基山町の自然や歴史を通して世代間交流を図ることをテーマとしたイベントです。

基山町の冬の一大イベントへぜひお気軽にお越しください。

日時 12月10日(日)／午前9時～午後3時

会場 基山町総合体育館周辺

内容 佐賀牛や基山の特産物の販売、学校給食の試食、赤ちゃんハイハイレース(要申込)、バルーンの係留、基山ウルトラクイズ、創作劇「八ツ並の姫～観音様になったお姫様～」の上演など

問基山町役場まちづくり課

☎92-7935 ☎92-0741

“ちくご遊学”久留米広域圏の情報を
ホームページでご覧いただけます。

☎http://www.kttnet.co.jp/kurume-koiki/

まちなかクリスマスマーケット

<久留米市>

クリスマスマーケットの出店、クリスマスツリーの飾りつけ、遊具の設置など、まちなかがクリスマスムード一色になります。

※入場無料、遊具は有料のものあり

日時 12月14日(木)～24日(日)

会場 西鉄久留米駅東口広場、久留米ほとめき通り商店街、久留米シティプラザ六角堂広場など

問(株)ハイマート久留米

☎37-7111 ☎37-7955

いちご狩りスタート

<うきは市>

立ったまま摘み取れる高設の園で、新鮮なもぎたてのいちごを味わってみませんか。種類によって、食感・甘さ・大きさ・風味が違いますよ。

期間 1月上旬～5月上旬

会場 うきは市内の観光いちご園

問うきは市観光協会

☎0943-76-3980 ☎0943-76-4039

ひばりロードふれあいマラソン 大会参加者募集

<大刀洗町>

期日 2月11日(日・祝)

会場 大刀洗町役場ほか

※種目、参加費など詳細はお問い合わせください

申込締切 1月5日(金)

※定員に達した場合は、締切日前に受付終了します

申問大刀洗町教育委員会生涯学習課

☎77-2670

10月のことになりましたが、広報10月1日号について「表紙を見て広報を読んでみようと思った」というお手紙をいただきました。毎回表紙を何にしようかと頭を悩ませている担当として、こんなに嬉しいことはありません。手紙をときどき読み返しては、幸せな気持ちに浸っています。皆さんからののおたよりお待ちしています▼手紙といえば、もうすぐ年賀状の季節ですね。皆さん、準備は進んでいますか。2018年の干支は戌。皆さんにとってワンダホーな一年になりますように。(Y)

編集後記



ひとのうごき

平成29年11月1日現在

()は前月比

人口	59,556人 (+31人)
男	28,428人 (+22人)
女	31,128人 (+9人)
世帯数	24,116世帯 (+21世帯)

今月

後期高齢者医療保険料

市県民税 国民健康保険税

下水道使用料 介護保険料

の納付月です。納付に便利な口座振替を!

収納課(内線132、133)

国保年金課(内線422～425)

介護保険課(内線452、453)

下水道課(内線342)



福岡銀行

市役所内派出所の窓口開設時間

○午前9時～午後4時



■発行 小郡市役所(☎838-0198 小郡市小郡255-1)

☎72-2111 ファクス73-4466 ホームページ <http://www.city.ogori.fukuoka.jp/>

■編集 総務課 広報統計係(内線243) Eメールkohotoukei@city.ogori.lg.jp

■発行日 平成29年12月1日